かさかけ 公民館だより

編　集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発　行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電　話：0277-76-2211
ＦＡＸ：0277-76-2836
Ｅメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

市民講座開幕！ 子育ての魅力と環境を考える



▲「子どもは地域の希望」と語りかける講師の森静子さん

今年度の市民講座第１講が10月４日㈯、笠懸公民館で開講しました。

講師はぐんま保育士・保育所支援センターのキャリアアドバイザー（元関東短期大学こども学科教授）の森静子さんです。「こどもと関わる全ての人へ！子育ての魅力と環境づくり～全国トップのこども真ん中みどり市を、目指して～」がテーマでした。

講座では、少子化や核家族化、共働き家庭の増加など、子どもを取り巻く環境の変化をはじめ、子どもの権利そして体罰・虐待が子どもに与える影響について解説。受講者に「皆さんが子育てしていた頃はどうでしたか？」と問いかけ、当時の子育てや子どもを取り巻く環境について話を聞く場面もありました。


▲熱心に耳を傾ける受講者

受講者の経験談から、昔と現在の子育て事情の違いを学び、これからの子育ての環境について会場の皆さんと考えました。

最後に講師は「みどり市は群馬県内で最も若い市であり、子どもを大切にする地域づくりには市民一人ひとりの力が必要」と強調。子どもも大人も活き活きと暮らせる「こども真ん中」のまちを目指して取り組んでいきましょうと締めくくりました。


▲環境づくりのヒントを学ぶ

元気に！秋の体験
笑顔弾む遠足と運動会

親子で様々な体験を楽しむ「ベビーキッズクラブ」。今秋はバス遠足や運動会など、心に残る行事が続きました。長雨にも負けず、元気いっぱいに活動した子どもたちの様子をレポートします。

バスでおでかけ 楽しいな♪

9月5日㈯はバス遠足です。数日前から雨が降り続き天候が心配されましたが、当日は暑すぎない曇り空。総勢7組23人の親子は、大型バスに乗り込み、前橋こども公園へ元気に出発しました。

初めて乗る大きなバスに、子どもたちは大興奮。車内で歌やお菓子を楽しんでいるうち、あっという間に目的地に到着しました。

公園では、ゴーカートを運転したり、大きな滑り台で遊んだりと、親子でいっぱい体を動かしました。

昼食の手作り弁当でお腹を満たした後は、外遊びをしたり、併設されている児童文化センターに移動したり、自由な時間を過ごしました。

帰りのバスでは遊び疲れてスヤスヤと眠る姿も見られ、思い出に残る一日となりました。



▲みんな笑顔で、はいポーズ



▲アスレチックに挑戦！

青空の下 力いっぱい

ベビーキッズクラブの運動会が開催された9月19日㈯の午前中は、天気に恵まれ快晴でした。

8人の子どもたちとその家族が芝生広場に集合。サンサン体操から始まり、おかしとり競争や風船とり、綱引きなどに興じました。

これまでの雨天が嘘のように晴れわたった芝生の上を、子どもたちは弾ける笑顔で力いっぱい駆け回ります。

途中、水分補給しながら、たっぷりと身体を動かしました。

長雨が続く中、なかなか外で遊べなかった9月でしたが、当日は運動会を存分に楽しんでいました。



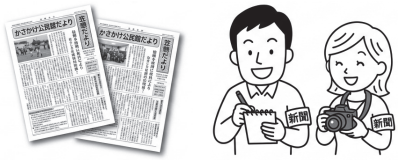
▲お菓子めがけて



▲ゴール目指して全力疾走



一緒にかさかけ公民館だより を作りませんか？



編集協力員 募集中!!

問合せ：笠懸公民館　☎76-2211

SNK作戦で世界へ挑戦

笠懸地域高齢者大学第３講「大人も楽しい理科の世界」が９月25日㈮、ぐんま未来大学ホールＰＡＬ（笠懸野文化ホール）で開催されました。講師は群馬大学副学長の板橋英之さんでした。

講師は最初に「環境科学ウルトラクイズをしましょう」といい、地球、隕石、元素など、ふだん生活になじみのない７問を４択方式で出題しました。「空気の成分で３番目に多い元素は何か？」といった難問に、会場のアチコチで受講者同士が相談する姿も見受けられ、聞きなれない名詞に戸惑いながらも大いに盛り上がりました。

全問正解者には、研究成果から商品化されたサンゴライトの鉱石を用いたパックが贈られました。

後半は、大学と研究室が取り組んでいる研究紹介です。群馬大学は企業による評価が全国でも非常に高く、「将来はアメリカのスタンフォード大学を超える世界的な研究拠点を目指す」という〝ＳＮＫ作戦（スタンフォードを抜く計画）〟を掲げ、日々研究に励んでいるようです。

その活動を牽引するのが、大学発のベンチャー企業「株式会社ＧＵＤｉ（グッドアイ）」です。現在は、群馬特産・コンニャクの未利用資源（廃棄物の飛粉）から抽出した成分を用いたサプリメント「Ｗ'（ダブル）Ｓｐｈｉｎｘ（スフィンクス）」を開発し、認知症の予防・改善に挑んでいます。

講師は「研究成果を世界へ届け、その利益を地元や教育に還元する地域経済の循環を目指しています。これからも、化学の力で人の幸福度の向上に貢献していきたい」と話を閉じました。



▲講師の板橋英之さん

新しいことに挑戦 初心者教室開講

笠懸地域文化協会が主催する「初心者教室」が今年も笠懸公民館を会場に開講しました。地域の皆さんが気軽に文化活動に触れる場として、毎年親しまれている企画です。

【フラダンス教室・全６回】

９月５日㈯に開講。講師は、フラダンス歴27年の近藤和子さんです。小学生を含む８人の参加者は、さっそく基本ステップの練習からスタート。腰の動きや手の動かし方など、講師の丁寧な指導を受け、笑顔で踊れるよう、一生懸命に取り組んでいました。



▲基本ステップを学ぶ（フラダンス教室）

【写真教室・全４回】

９月15日㈫に開講。講師は山荷茂さんです。デジタル一眼レフカメラの基礎を学びました。参加者４人は、真剣な表情でファインダーを覗き、操作に熱中していました。



▲ファインダーに集中 📷（カメラ教室）

【親子茶の湯教室・全３回】

10月10日㈯に開講。講師の小磯歌織さんと一緒に、６組（14人）の親子がお茶の作法に親しみました。子どもたちは緊張しながらも、日本の伝統文化に触れる豊かなひとときを過ごしていました。



▲茶道に触れる（親子茶の湯教室）

どの会場も、新しい世界を広げる受講生の熱気と笑顔に包まれていました。

文化祭へ情熱注ぐ

10月24日㈯・25日㈰に開催された笠懸地域文化祭。盛況のうちに幕を閉じた文化祭の裏側には、役員や地域住民の万全な準備がありました。

今号では、開催を支えた「準備の日々」を振り返ります。

※当日の模様は次号（第231号）でお伝えします。

彩り添える ポスター決定

笠懸地域文化祭ポスター選考会が、9月9日㈬に開催。今年は14点の応募があり、どれも個性豊かな力作揃いで選考は難航しました。

厳正な審査の結果、受賞者が次のとおり決定しました。

（敬称略）

◇最優秀賞
森田（もりた） 紗楽（さら）（笠懸南中1年）

◇優秀賞
岡田（おかだ） 華（はな）（笠懸南中3年）
小峰（こみね） 睦加（むつか）（笠懸小6年）

最優秀賞に選ばれた作品は、今年の文化祭ポスターとして掲示され、文化祭を華やかに盛り上げました。また、文化祭当日には全応募作品が展示され、来場した多くの人たちの目を楽しませていました。



▲今年のポスター

成功に向け最終確認 文化祭実行委員会

第2回文化祭実行委員会が9月29日㈫、笠懸公民館で開催されました。

冒頭、採用されたポスターを披露。地域の絆を感じさせる温かなデザインに、本番への期待が高まりました。

また、各部会から詳細な進捗報告が行われ、文化祭の全体像が見えてきました。その後は展示・ステージ・イベントの各部会に分かれ、当日の運営などについて細部まで入念な確認を行いました。

参加団体が日頃の成果を存分に発表するため、万全の態勢で本番を迎えようという実行委員一同の気迫を感じました。


▲入念な協議を重ねる

利用ルールを検討 公運審笠懸部会

笠懸公民館で9月2日㈬、「第1回みどり市公民館運営審議会笠懸部会」が開催されました。部会の委員5人が出席し、事業報告のほか、今後の公民館運営に関わる「利用ルールの適正化」について審議しました。

【7割ルールの是非】

現在、団体の利用登録には「構成員の7割以上が市内在住・在学・在勤者」という条件があります。しかし、事務局からの報告では、近隣自治体の多くが「5割以上」を採用していることや、少子高齢化に伴うメンバー減少により、現行ルールが新規登録やサークル存続の壁になっている実態が浮き彫りとなりました。委員からは「地域の活力を維持するために緩和を検討すべき」との意見が出る一方、特定施設への予約集中を懸念する声もありました。

今後はメリットとデメリットを整理し、利用者の会とも協議を継続します。

【行政利用の適正化を】

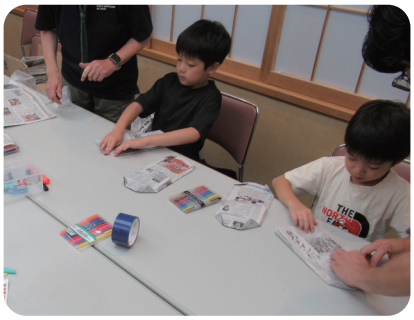
協議では、市役所の会議室不足を背景とした「行政機関による利用増加」も課題として挙げられました。一般の利用枠が圧迫されている現状に対し、委員からは「公民館は市民の学びの場。行政利用は最小限にして欲しい」といった要望が出されました。

地域に開かれた学びの場であるために、時代に即したルール作りが進められています。

こどもまつり実施報告

第39回みどり市笠懸地域こどもまつり第３回実行委員会が９月17日㈭、笠懸公民館で開催されました。阿左美文雄委員長のもと、今夏の実施結果が報告されました。

今年の来場者数は約3700人（前年度比25％増）でした。昨年度を上回る賑わいにより、地域行事としての確かな定着を確認しました。また、ガールスカウトによる熊本地震義援金も１万5153円集まり、被災地へ送金しました。



▲こどもまつり（防災体験）

協議では、運営体制の今後についても活発な議論が行われました。行政直営化の検討に対し、委員からは「地域団体と子どもが一体となって創り上げるこの形式こそが事業の本質」との強い意見が相次ぎ、現行の実行委員会形式を継続する方針を確認しました。一部会場変更に伴う課題も共有され、早くも来年に向けて動き出しました。

コラム豆電球

『人はなぜ糖質を欲するのか？』

筋肉疲労のみならず、残業疲れなど、頭を使ったあと、妙に甘いものが食べたくなることがある。

タンパク質や脂肪分の多い、腹もちのいいもののほうが疲労回復には効果があるように思えるが、とくに甘いものを食べたくなるのはなぜなのだろうか？

それは、糖質がエネルギー源として即効性があるためだからだ。エネルギーの消耗により、その代謝産物である乳酸などの疲労物質がたまった結果、筋肉疲労や頭脳疲労が引き起こされる。したがって、疲れをとるためには、足りなくなったエネルギーを補って代謝を活発にし、この疲労物質を取り除いてやればいいということになる。

それには即エネルギー源になる糖質、すなわち甘いものがいちばんいいわけだ。

しかしながら、疲労時に甘いものを食べると、たしかに一時的に疲れが軽くなったように感じるが、あくまで一時的なものである。また、血糖値スパイクと呼ばれる血糖値の急変動によって、だるさや眠気が起きてしまうといったことがあるようだ。

やはり、糖質よりもタンパク質なのかな？



公民館のヒミツを探る

あずま小中学校（義務教育学校）の３・４年生５人が９月３日㈬、社会科見学で笠懸公民館を訪れました。

子どもたちは、交流ホールのスクリーンの大きさに驚いたり、ドラムセットのある音楽室２などに興味を持ったりしながら館内を見学。和室３（茶室）では畳の下にある炉（ろ）の仕組みについて説明を受けると、身を乗り出して中をのぞき込み、「すごい！」「初めて見た」と驚きの声を上げていました。

質問タイムでは、公民館の役割や広さについて聞いていました。離れた地域にある公民館での新しい発見に、子どもたちは最後まで熱心にメモを取り、理解を深めていました。



▲畳の下には何がある!?

笠懸公民館SNS紹介

Instagram

@KASAKAKEKOUMINKAN

YouTube

みんなの公民館 みんなで考えよう

みどり市公民館大会は、公民館利用者・市民・職員が一緒に、これからの公民館活動について考えていくための、年に一度のイベントです。

これまで、講演・事例発表・話し合いなど、様々な形で行ってきました。今年度も、10月2日㈮に実行委員会が始動し、3月に大間々公民館（多世代交流館）で行うことが決まりました。内容をこれからの実行委員会で検討するので、読者の皆さんからのご意見も大歓迎です！

なお、役員は次のとおりです。（※敬称略）

◆実行委員長
山﨑　君明

◆副実行委員長
小林　久江

泥んこで稲刈り 米っこクラブ収穫体験

米っこクラブは9月26日㈭に稲刈りを実施しました。



▲ぬかるむ田んぼで奮闘

昨年は猛暑による乾燥が懸念されましたが、今年は適度な降雨に恵まれ、稲は順調に黄金色の実を付けました。

当日はあいにくの雨となりましたが、参加した子どもたちはカッパを着用し、ぬかるむ田んぼに足を取られないよう慎重に稲刈りに挑戦しました。

慣れない手つきでのこぎり鎌を握り、一株ずつ丁寧に刈り取っていきます。最初は苦戦していた様子でしたが、次第にコツを掴み、手際よく稲を刈れるようになっていく子どもたち。雨の中での作業は大変でしたが、子どもも大人も一生懸命に稲刈りに取り組みました。終盤には疲れた様子も見られましたが、作業を終えると服についた泥を落とし、お待ちかねの昼食タイムです。

メニューは、里芋入りの芋煮とおにぎり。できたての芋煮は子どもから大人まで大人気。何度もおかわりをして、秋の味覚を存分に楽しんでいました。

防災を考える ⑦⓪

命を守る防寒対策

本格的な冬の寒さが気になる時期となりました。今年の冬は、日本全体で平年並みかやや暖かめになる見通しですが、一時的な強い寒波や大雪には注意が必要です。

冬場に停電が発生すると、寒さが直接命に関わる事態も想定されます。食料や水に加え、毛布や厚手の衣類、使い捨てカイロ、足元を照らす灯りなどを準備しておくと安心です。温かい食事は心身の助けとなるため、カセットコンロなどの熱源も備えておきましょう。

また、積雪による道路の凍結では、車の立ち往生も懸念されます。外出前には燃料の残量を確認し、車内にも防寒具や飲料水、簡易食を備えておくことが大切です。

万全の準備で、厳しい冬を安全に過ごしましょう。





こえのひろば

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。（しめきり毎月10日）

みどり市スケッチ vol.18

みどりの空にアンデスが響いて

萩　芳岳



▲アンデスの民族楽器が響く

みどり市童謡ふるさと館で9月12日㈯、「みどりの風フォルクローレ」と銘打ったアンデス音楽のコンサートがあったので出かけました。

「フォルクローレ」とは、南米アンデス地方に伝わる民族音楽で、大自然や人々の暮らし、そして喜びや悲しみを歌や楽器の音色にのせて表現。素朴で温かく、心に響くメロディが特徴です。

当日のラインナップはMike・Andes、あんぱん、すがのスペシャルユニット、Naoy Papa、Pam Peroで、5組が一堂に会しての演奏。奏でる旋律やリズムはときには激しく、ときには抒情溢れるアンデスの香り高い特色のある歌声を聞かせてくれました。

そして、南米アルゼンチンやボリビアに伝わる民族楽器（ケーナ、サンポーニャ、チャランゴ、ボンボ）を紹介し、その特徴ある音色をホール内に響かせました。各グループの活動歴は長く、埼玉県で活動を続けるNaoy Papaは25年に及ぶそうです。

Mike・Andesに所属するみどり市の伊佐山さんが「アンデス音楽をもっと知って欲しい」と企画に関わったとのこと。

みどりの山々がインカの青空に繋がっているようなコンサートでした。

上毛かるたわ

御朱印レディー

和算の大家・関孝和

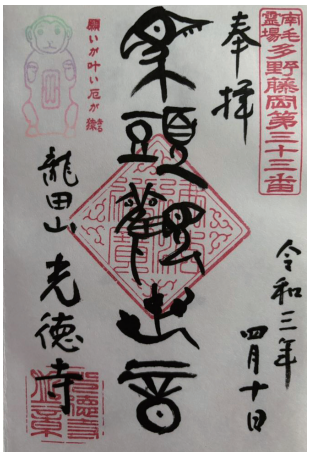
和算の先駆者として世界に知られる関孝和は、江戸時代に藤岡の武士の家に生まれたと伝えられています。和算とは、鎖国下の日本で独自に発展した高度な数学です。円周率や球の体積の計算方法を確立した孝和の業績は、現代でも高く評価されています。

この札は、その偉大な数学者を郷土の誇りとして敬い、功績を後世に伝えるために詠まれたものです。

当時、和算を学ぶ人々は難問が解けると、その解法を「算額」という額に記してお寺や神社に奉納しました。算額は全国に約8百面残っていますが、そのうち百面が群馬県内にあります。太田市の冠稲荷神社や高崎市の榛名神社など、県文化財指定の貴重なものも多く存在します。

また、藤岡市の光徳寺には孝和の墓があるほか、日航ジャンボ機墜落事故の犠牲者を供養する慰霊地蔵尊や、日本画家・中島千波さんによる天井龍図などがあります。この天井龍は、通常3本の指がお寺の希望で、5本で描かれているのが特徴です。

歴史と芸術の見どころが多い立派なお寺です。一度訪れてみてはいかがでしょうか。



▲光徳寺の御朱印

サークル活動を館報で紹介しませんか？

笠懸公民館では、地域のつながりや活動の輪を広げるため、地域のサポーターがサークルを取材し、館報でご紹介します！



【問合せ】笠懸公民館
住所　〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話　0277-76-2211
FAX　0277-76-2836
メール　kouminkan@city.midori.gunma.jp
お気軽にお問い合わせください
QRコード

テクテクお城歩き(63)

掛川城

歩遊人

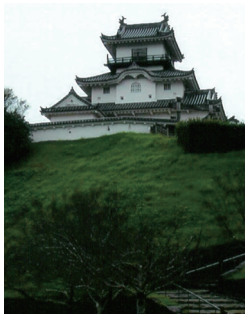
静岡県掛川市にある掛川城は続日本100名城のひとつです。

資料によれば築城は1512（永正9）年頃、戦国時代に今川氏親が朝比奈泰煕に命じて築かせたようです。最初の掛川城は古城と呼ばれています。

そして、1590（天正18）年、徳川家康が東海から関東に移封されると、山内一豊が掛川城に入り近世の城郭へと大改修したようです。1854（安政元）年に大地震（安政東海大地震）に襲われ、多くの建物が倒壊しました。その後、二の丸御殿、太鼓櫓、蕗の門、大手門などは1861（文久元）年までに再建されました。そして、1994（平成6）年には、日本初の本格的な木造建築の天守閣が復元されました。

見どころは、二の丸御殿。現存する建物の中で数少ない遺構で、太鼓櫓、四足門、三日月堀などがあります。

東海道線掛川駅から徒歩約10分。



▲掛川城



笠懸短歌サークル

九月例会より

事故多発ニュースに戦く高齢の運転吾にも強くひびけり　上村　征子

深まれる愛を母へのフォルテッシモ「アイノカタチ」で声を重ぬる　久保田茂子

看護師なる孫娘はわが血圧帳をしばしめくりて安堵の息す　関口　定夫

体力の日に日に落つる気のすなり草取り一時間続けられねば　平山　勇



ちょっと一息

今年もマレーシアで開催されたミセス文化交流の世界大会に参加しました。今回は出場者ではなく面接審査員などの大役を務め、特別な称号もいただきました。

今までで一番大きなクラウンとゴールドの美しいサッシュを身に着けた瞬間、胸がいっぱいになりました。

実は参加を迷っていた時期もありました。でも思い切って参加し本当に良かったです。

出場者の頃とは違う立場で得た経験はかけがえのない宝物。

私を導き支えて一緒に歩んでくださった皆様に心から感謝します。本当にありがとうございます。

夢を持ち続ければいつか叶う。これからも夢と希望を胸に勇気の一歩を踏み出してまいります。

皆様も夢を諦めず希望を持って一歩を。その一歩がいつか素晴らしい未来へとつながりますように。

感謝と希望を胸にこれからも歩み続けます。

風鈴